

本学では、建学精神である「自由と清新」および教学理念である「平和と民主主義」を踏まえて、総合大学としての利点を活かした開放型の教員養成を行ってきました。具体的には、授業力・児童生徒理解力・コミュニケーション力・マネジメント力・教師としての自己形成力・学び続ける力の 6 つの力を身につけた教師の養成を目指しています。言語教育情報研究科では、こうした立命館大学の教員養成の理念の中でもとりわけ（1）高度な専門性（知識、見識、技能）の獲得、（2）生徒（学習者）の生活や学習における状況や学びの要求を把握、理解する力の獲得、（3）教師としての実践力の基礎となるコミュニケーション力（伝える力）の獲得を英語科教員養成の中で具体化してきました。

言語教育情報研究科では、中学校及び高等学校教諭専修免許状（英語）の取得が可能な課程を設置していますが、その趣旨は、国際的な通用性を持った言語教育の専門家や、言語学とコミュニケーション表現学の専門的な知識と実践的な応用能力を身につけた高度専門職人材の養成です。これを可能とするために、第二言語習得論や英語教授法等だけでなく、英語のコミュニケーション能力（運用能力）を養成する科目に加えて、コンピュータ支援学習（CALL）など情報機器を活用した英語教育方法のスキルを獲得する科目なども提供しています。統合的な英語コミュニケーション能力の獲得をめざす英語教育現場に対応できるように、学校インターンシップ科目やオーストラリアのサザーン・クイーンズランド大学と共同で開発・実施の TESOL 資格取得プログラムも提供しています。これから教員を目指す人ばかりでなく、現職の教員の皆さんの更なる専門性向上にも貢献できるコース設計になっており、国内外の学生とともに学び合うことで 21 世紀の英語教育を牽引できる人材の育成を目指します。